

令和4年1月5日  
学校教育課

- 1 実施日 令和3年10月20日（水）
- 2 実施対象 府内中学校及び義務教育学校（97校）特別支援学校（2校）
- 3 実施教科及び受検者数 国語 9,053人 数学 9,064人 英語 9,066人
- 4 問題内容及び問題数
  - (1) 基礎・基本に関する問題 …… 20問
  - (2) 活用に関する問題 …… 5問
  - (3) 質問紙調査 …… 51問（学校独自に設定できる質問2問を含む）

令和3年度京都府学力診断テスト（中学校2年）を実施しました。  
学力調査と質問紙調査の結果について概要を報告します。

### 学力調査の状況

- 学力については、概ね定着しているが、どの教科においても一部の領域に課題が見られる。
  - ・国語 ◆「話すこと・聞くこと」の領域は定着しており、「書くこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域は、ほぼ定着している。
    - ◆「読むこと」の領域に課題が見られる。
  - ・数学 ◆「数と式」、「図形」、「資料の活用」の領域は、ほぼ定着している。
    - ◆「関数」の領域に課題が見られる。
  - ・英語 ◆「聞くこと」の領域は定着しており、「読むこと」の領域はほぼ定着している。
    - ◆「書くこと」の領域に課題が見られる。

### 質問紙調査の状況

#### ■ 【授業改善】

自分の考えを発表する機会が与えられていることや話し合う活動をよく行っていることについては、令和元年度から若干の減少は見られるものの肯定的に回答している生徒が多い。

- ※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と肯定的に回答している生徒の割合
- 「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられている」91.7%（R元：92.8%）
- 「授業では、みんなで話し合う活動をよく行っている」90.8%（R元：94.0%）
- 「授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されている」95.2%（R元：96.0%）
- 「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っている」80.3%（R元：76.3%）

#### ■ 【学習習慣】

自分で計画を立てて勉強をしている生徒は6割に満たないが、令和元年度に比べて3%近く増えている。また、授業の復習をしている生徒もおよそ4%増えている。家庭学習の時間については、ほぼ令和元年度並である。

- ※「している」「どちらかといえば、している」と肯定的に回答している生徒の割合  
 「自分で計画を立てて勉強をしていますか」56.4%（R元：53.6%）  
 「家で、学校の授業の予習をしていますか」25.1%（R元：23.6%）  
 「家で、学校の授業の復習をしていますか」47.0%（R元：42.9%）
- ※「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしていますか」に  
 「30分より少ない」、「全くしていない」と回答した生徒の割合21.8%（R元：21.6%）

## ■ 【学校生活】【人や社会との関わり】

規範意識を持ち、前向きにものごとを考えようとしている生徒が多い。

- ※「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と肯定的に回答している生徒の割合  
 「知っている人に会ったときには、あいさつをしている」89.4%（R元：90.3%）  
 「学校や社会のきまりや規則を守っている」94.5%（R元：94.0%）  
 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」93.7%（R元：94.1%）  
 「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」61.4%（R元：64.4%）  
 「人が困っているときは、進んで助けている」83.6%（R元：81.5%）  
 「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」95.3%（R元：95.4%）  
 「人の役に立つ人間になりたいと思う」92.8%（R元：93.2%）

## 改善プラン ～指導を強化する事項～

### ☆ 単元などの内容や時間のまとまりを意識した指導の充実

単元などの内容や時間のまとまりの中で育成したい資質・能力を明確にした指導計画を立て、生徒の学びをつなげ、変容を自覚させる。その中で、教科の見方・考え方を働かせ、児童生徒の資質・能力の育成を図る。

### ☆ 指導と評価の一体化の充実

育成を目指す生徒像を具体的にイメージし、生徒の現状を分析し、指導を通して生徒がどのような資質・能力を身に付けたのかを見取り、一人一人を評価するとともに、教員が自らの指導改善に活かす。

### ☆ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

単元の目標、授業のめあてを生徒が達成できたかどうかを確認する。このとき、主体的・対話的で深い学びの視点から授業を振り返り、さらに指導方法を工夫・改善する。

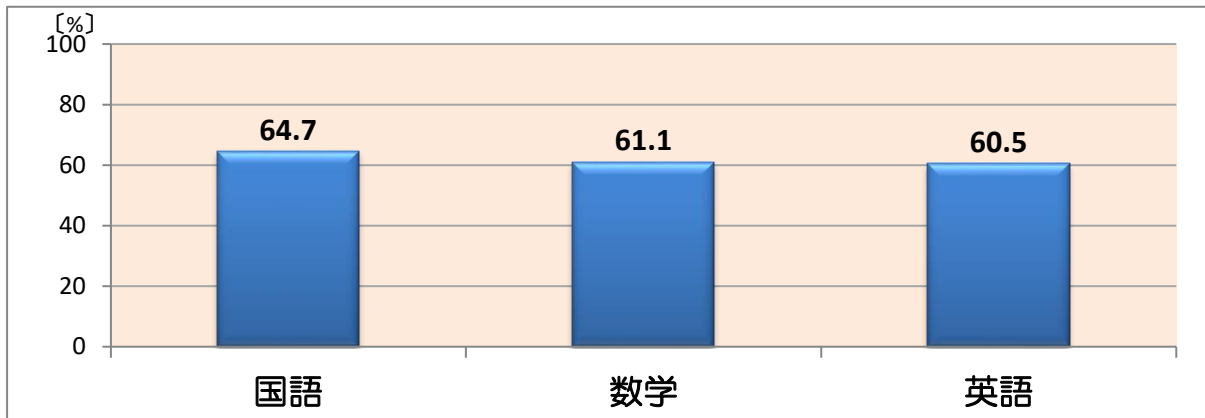
### ☆ 「京都府学力診断テスト活用講座」を実施 【1月14日・1月18日（オンライン）】

- ・診断テストの概要について
- ・授業改善の視点について

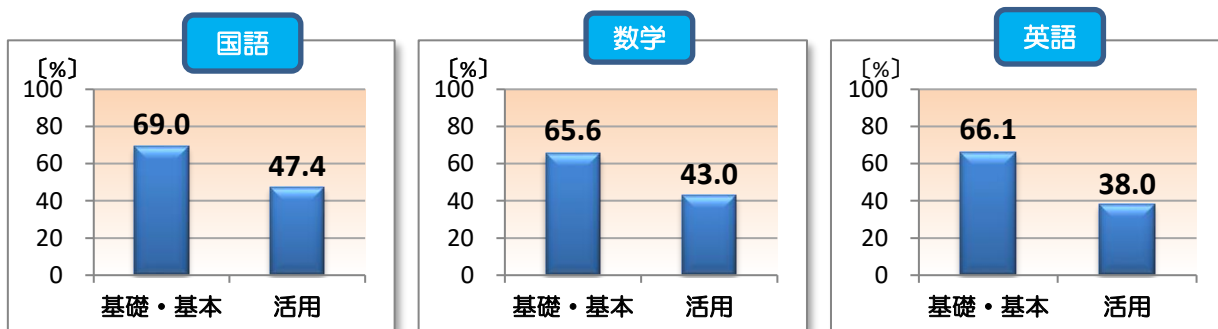
5 結果の状況（京都府全体）

(1) 教科別

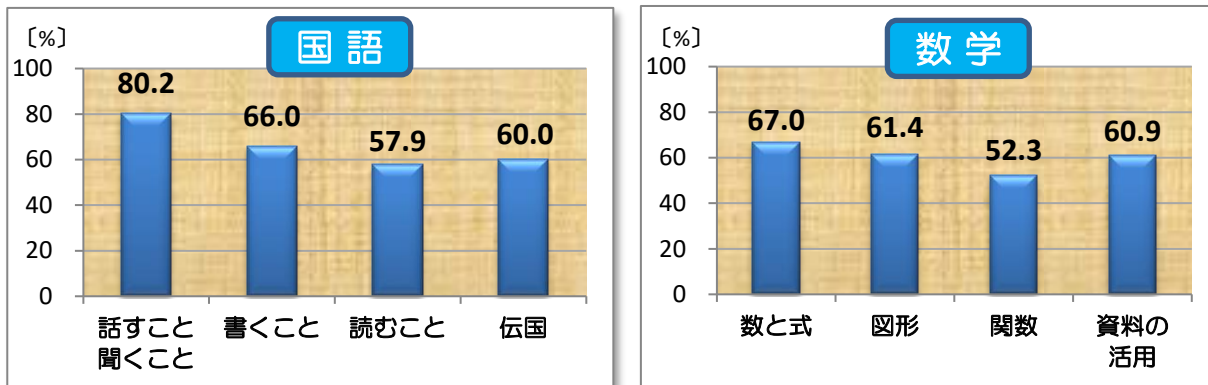
※数値はすべて正答率（100%）



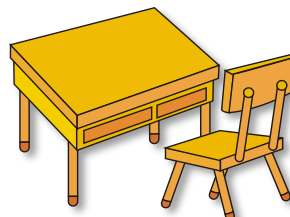
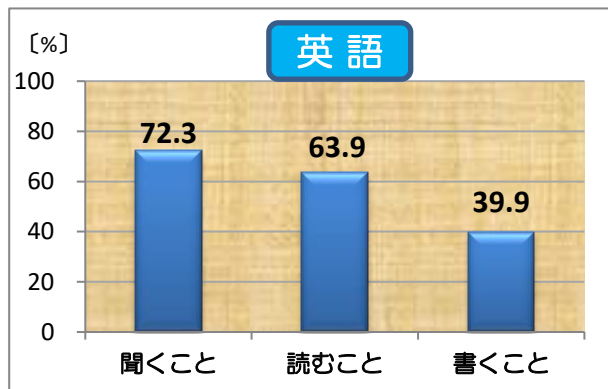
(2) 問題類型別（基礎・基本に関する問題 活用に関する問題）



(3) 領域別



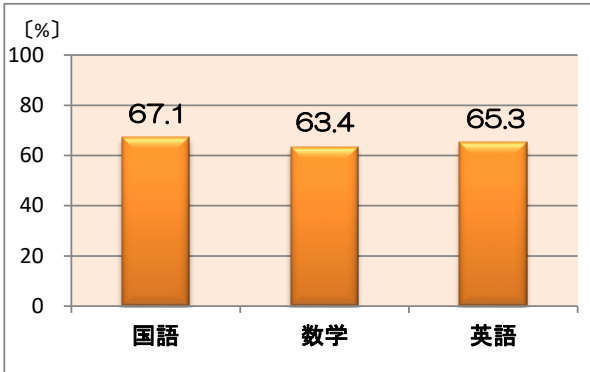
\* 伝国…伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項



(4) 教育局別平均正答率

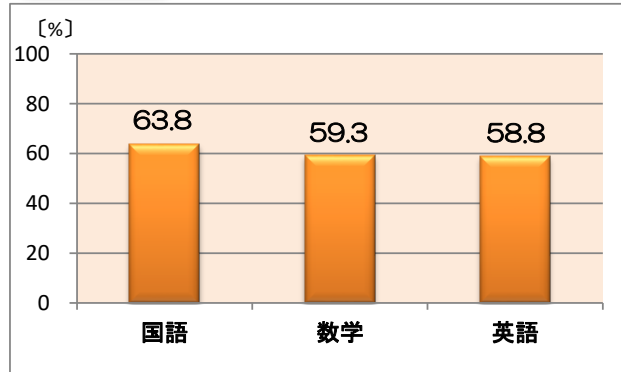
**乙訓**  
(8校)

国語 ( 1,261 人 13.9% )  
 数学 ( 1,261 人 13.9% )  
 英語 ( 1,261 人 13.9% )



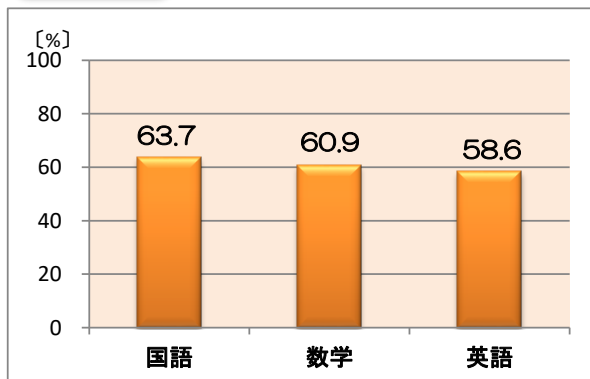
**山城**  
(35校)

国語 ( 4,472 人 49.4% )  
 数学 ( 4,483 人 49.5% )  
 英語 ( 4,483 人 49.4% )



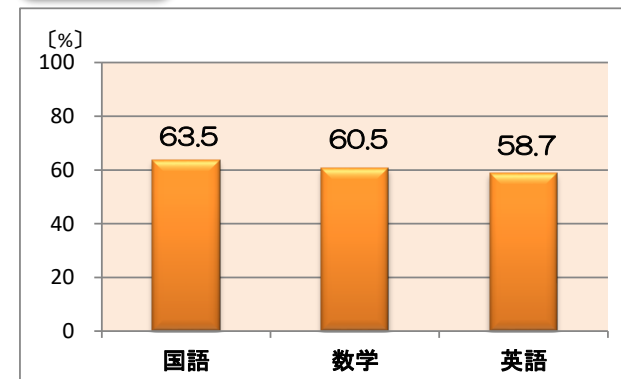
**南丹**  
(15校)

国語 ( 976 人 10.8% )  
 数学 ( 976 人 10.8% )  
 英語 ( 978 人 10.8% )



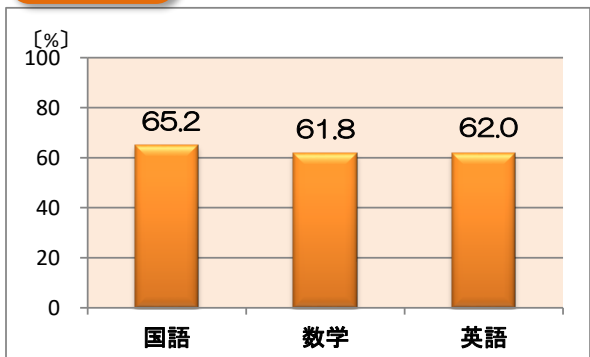
**中丹**  
(22校)

国語 ( 1,461 人 16.1% )  
 数学 ( 1,462 人 16.1% )  
 英語 ( 1,463 人 16.1% )



**丹後**  
(12校)

国語 ( 691 人 7.6% )  
 数学 ( 690 人 7.6% )  
 英語 ( 689 人 7.6% )



( ) は、  
 (受検者数 府全体の受検者数に占める割合) を表す。